

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	僕たち私たちの考えること「小さな声を聴いてみよう」					
実施団体名	特定非営利活動法人 すくらむハート					
事業概要	<p><b>【事業目的】</b>                  コロナ禍により、社会的な分断が様々な分野にて起きています。社会的な弱者である障がい者と健常者が交流することにより、その時に感じる「他者への思いやり」を報告としてみんなと一緒に笑える社会を模索します。</p> <p><b>【事業内容】</b>                  すくらむハートに来ている子たちと市内の子供たちが、一緒に絵を描き交流します。講師として社会的弱者の方との制作活動を数多く行っている今治出身の画家マヤマックスさんを招聘します。その時感じた障がい者、健常者の感想を報告書として作成します。交流で感じたことを形にすることで、大事なコトを忘れず、他者に伝えます。</p>					
事業の発展性	今年度のノウハウを生かし、キーワードをわかりやすくイベント内容に生かします。そして作品展示をもう少しわかりやすく行い、来場者の意見等をいただき、「みんなが笑える社会」の理解を広げていきます。					
補助額	市補助額	500,000	総事業額	759,820	補助対象経費	759,820
コ メ ン ト	実 施 団 体	<p><b>&lt;事業を実施しての効果&gt;</b>                  障害のある方と子どもさんらの交流を通じて、みんなが笑える社会を作っていくには「みんな同じ」「一生懸命の姿」「ユーモアを持つこと」「楽しむ心」などのキーワードが見えてきた。初めての試みで方向性が見えていないなか始めたが、これらのキーワードが見えてきたことは、これからの事業に活かしたい。</p> <p><b>&lt;事業を実施しての問題点&gt;</b>                  いろいろな障がい者の施設・団体に参加を募ってみたが、準備等に思ったより時間を要した。またコロナにて当初の予定を変更して行ったので、準備期間が少なく参加を見合わせる方もおられた。また団体間での参加に要するタスクが違うので、個別の対応が必要であった。</p> <p><b>&lt;問題点に対する解決策&gt;</b>                  今年作成したパンフレットを送付し、事業の趣旨を理解いただく。そして日程を早くから決め、各団体と個別に調整していく。</p>				
	市 民 活 動 推 進 委 員	<p><b>(1) 公益性</b>                  ・コロナの影響もあるが、参加者が限られているため、公益性には少し疑問がある。                  ・障がい者支援に効果がある。健常者と障がい者の交流の場をつくる事に意味がある。                  ・コロナ禍で対象者を縮小したようだが、もう少し広い範囲で交流してもらえたらよかった。</p> <p><b>(2) 自発性</b>                  ・かなり自発性と熱意が感じられる。</p> <p><b>(3) 費用対効果及び継続性</b>                  ・継続の意思があることは評価できる。                  ・補助金がなければ、支出の見直しをしなければ継続が難しい事業である。今後は講師に頼らず実施できるよう、団体スタッフがスキルアップしてほしい。チラシの配布枚数に対して参加者が少ない。</p> <p><b>(4) 団体の評価</b>                  ・障がい者団体として信頼性と実績があり、今後の取組に期待できる。</p> <p><b>(5) 事業の効果</b>                  ・市民の満足感はあったと思う。                  ・障がい者が活動しやすいまちづくりが期待できる。                  ・MAYAMAXXさんに委ねてしまっている感じがある。参加者や、作品展示をしての声等があるともっと効果が感じられたのではないかと。                  ・参加者が一部の市民の他はサポートやスタッフのようなので、市民の満足度としては参加者しかわからない。</p>				

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	僕たち私たちの考えること「小さな声を聴いてみよう」	
実施団体名	特定非営利活動法人 すくらむハート	
コ メ ン ト	市 民 活 動 推 進 委 員	<p>&lt;総評&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続してほしい事業である。</li> <li>・当初計画概要に「…その時感じた障がい者、健常者の感想を報告書として作成します。交流で感じたことを形にすることで、大事なコトを忘れず、他者に伝えます」とある。イベントは終わったが、まだ事業の目的は終わっていないので、最後の「他者に伝えます」のところを今後もしっかりやってほしい。</li> <li>・コロナ禍での対面での活動において対策や準備のことを思うと頭が下がる。みんなが笑える社会に一步近づいた。これからも障がいのある方への理解が深まる活動を継続してください。</li> <li>・誰もが平等に自分の持っている身体全部を使って楽しく表現できて、仲間もできてよかった。今後も続けていって、今治から第二のMAYAMAXXさんが出てきてくれると良い。。</li> <li>・コロナ感染拡大状況にあわせ、予定していた内容を工夫し変更しながら実施されたのはよかった。今後、コロナ禍でも実施できるような内容で、障がい者と地域住民が交流できる企画を期待している。</li> <li>・今回の経験を他団体にも広めて、交流を深めていってほしい。</li> </ul>